

杉本徳久です。民事提訴の通告メールの件 唐沢治さん、山谷真さんへ

杉本徳久 Sugimoto Norihisa <sugimotonorihisa@gmail.com>

2010年11月20日 8:55:27 JST

(唐沢氏から提訴予告をされた杉本氏が、結果を待ちきれず、「なぜ俺様に裁判の進行状況を知らせないんだ!」と、唐沢氏に憤って迫ったメールである。多大な解説は必要ないと思うので省略するが、自分が提訴されるかも知れないという文脈で、直接相手に進行状況を教えろと迫るのも、甚だ非常識であり、さらに謝罪を要求する杉本氏の思考には恐れ入るばかりである。

一体、杉本氏が唐沢氏に求めていたのが、何に対する謝罪なのかも不明である。唐沢氏が杉本氏に提訴予告をするという「不届き行為」に及んだことへの謝罪なのか、それとも、杉本氏に裁判に至る経緯を説明しなかったことに対する謝罪なのか。ちなみに、唐沢氏の提訴に関する詳細は、当時、筆者も知らなかったことであり、これについては他のメールで解説しているのでそちらを参照されたい。山谷少佐はこの件にはほとんど無関係であった。だが、このメールも、必要もないのに、唐沢氏、ヴィオロン、山谷少佐の三者に宛てられており、杉本氏が常に無関係な他者を巻き込んで、話を大げさに広げて行こうとする人間であることがよく分かる形になっている。)

前略、唐沢治様、山谷真様

「随想 吉祥寺の森から」の杉本徳久です。

8月6日にあなたから送られてきました「お知らせの件」と題され、「暑中お見舞いを申し上げます。」との文章で始まった私に対する民事提訴の通告メールの件ですが、その後、弁護士さんとの協議はどうなっておられますか。

こちらは訴状の到着をお待ちしていますが、電話、ファクス、郵便、メールなどでの問い合わせも全く何もありません。そちらの弁護士名、弁護士事務所の連絡先を連絡するようにとも申し上げていますが、それについても依然として無視なさっていますね。

どこかの神奈川県警の署に告訴なさったとのことでしたが、その共犯として私に関わる可能性もあるということでしたが、それについてもその後の進展はどうなりましたか。

救世軍の牧師でもある山谷真さんが唐沢さんに今回の件では関係者として関わっているとのことでしたが、山谷さんから何の説明もありません。

山谷さんも悪辣な2ちゃんねるなどの闇掲示板で私に対する誹謗中傷をなさる暇があるならば、きちんと今回の一件について、ご説明下さい。

弁護士などの「夏休み期間」で手続きがお休みということでしたが、もう待降節に入りますがどうということですか。

以上の件につきまして、いつまでもとぼけていないで、説明していただけますよう、強く要望いたします。あなたがたからの謝罪がないならば、このままうやむやに曖昧な処理をすることはありませんので、その点、どうぞよろしく願い申し上げます。

1800001

武蔵野市吉祥寺北町1-5-14

杉本徳久

sugimotonorihisa@gmail.com